

エコロジカルネットワーク形成の手引き

～身近な場所での「生物生息空間」の保全・再生・創出方法～

目 次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. はじめに | 2 |
| 1-1. この手引きの目的 | 2 |
| 1-2. この手引きで対象にする施設 | 3 |
| 1-3. 目標とする生きもの | 4 |
| 2. 「生物生息空間」の保全・再生・創出方法 | 9 |
| 2-1. 樹林・草地・水辺に共通のポイント | 9 |
| (1) 周辺の「生物生息空間」とのつながりを考える | 9 |
| (2) 敷地の立地環境を考える | 9 |
| (3) 生きものを持ち込まない | 9 |
| (4) 草地タイプの「生物生息空間」の創出を検討する | 10 |
| (5) 地域本来の植物（在来種）を利用する | 10 |
| 2-2. タイプ別の方法 | 11 |
| (1) 樹林タイプ | 11 |
| (2) 草地タイプ | 17 |
| (3) 水辺タイプ | 21 |
| 2-3. 「生物生息空間」の管理方法 | 24 |

1. はじめに

1-1. この手引きの目的

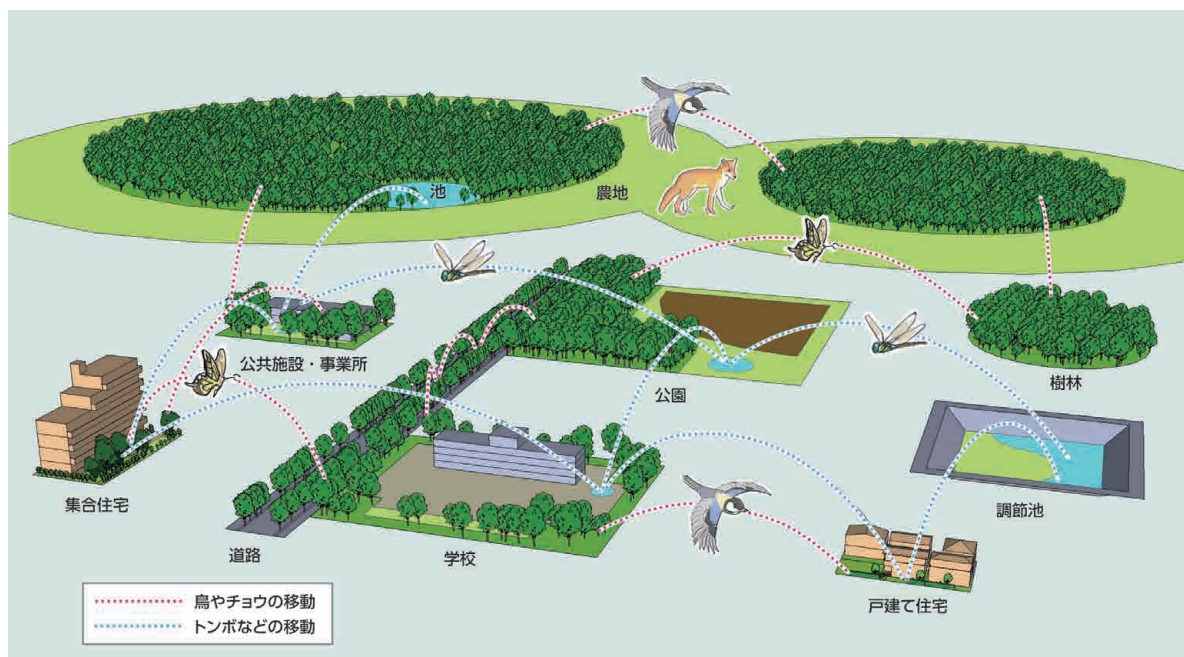
「生物多様性ところざわ戦略」では、4つの目標の一つとして「生物生息空間」を守り、創り、つなげて、エコロジカルネットワークをつくります」という目標を設定しています。

この手引きは、「生物生息空間」を保全・再生・創出するための基本的な方法を示すことにより、公共施設や学校、公園、団地、事業所など、市内のさまざまな場所で「生物生息空間」の保全・再生・創出を行い、戦略の目標であるエコロジカルネットワークを実現することを目的としています。

■エコロジカルネットワーク

野生の生きものの多くは、生まれてから1か所にとどまっているのではなく、繁殖や採食等のために、日、年、一生などの単位で、同じあるいは異なる環境を移動して暮らしています。そのため、生きものが長くその地域で生息生育できるようにするには、さまざまなタイプの「生物生息空間」があり、その間を生きものが移動できるようになっていることが望まれます。

このことは、所沢市を「身近に生きもののにぎわいを感じるまち」にするためにも重要です。郊外からまちなかまで「生物生息空間」があり、生きものが移動できるようにすることで、身近に生きものとふれあえるようになるためです。



エコロジカルネットワークのイメージ

■生物生息空間

「生物多様性ところざわ戦略」では、動植物の生息・生育場所を「生物生息空間」と呼んでいます。「生物生息空間」には、樹林や草地のほか、水面や湿地、水田などの水辺、農地などさまざまな種類があります。規模も狭山丘陵の林や平地林などの大きいものから、庭木などの小さなものまでさまざまです。

1-2. この手引きで対象にする施設

この手引きは、エコロジカルネットワークの形成に向けて、「生物生息空間」を保全・再生・創出することが望まれる、比較的広い敷地を持つ施設から住宅の庭や、ベランダまでを対象としています。また、これら以外の樹林や草地、水辺等の自然地などの保安全管理においても、生物多様性を豊かにするために活用していただくことができます。

なお、「河川」は重要な「生物生息空間」ですが、方法が広く普及していることから、この手引きでは対象にしていません。

■この手引きで対象にする施設



公共施設



学校（小学校・中学校）



公園・緑地



道路



調節池・調整池



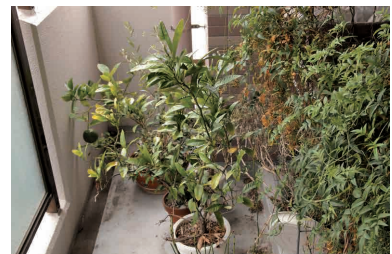
団地・集合住宅



事業所・工場・大型店舗



教育施設



住宅の庭・ベランダ

1-3. 目標とする生きもの

「生物生息空間」の保全・再生・創出を効果的に行うためには、目標とする生きものを設定し、その生きものに適した環境を保全・再生・創出することが望まれます。また、目標とする生きものを設定することで、取り組みの成果を確認することができるようになります。

そこで、目標とする生きものの候補（104種）を選定しました。選定にあたっては「主な生息環境（樹林、草地、水辺）」や「見やすさ」などを考慮しました。

「見やすさ」の区分

- ★ まちなかでも見やすい生きもの
- ★★ まちなかでも、よい環境があれば見られる生きもの
- ★★★ 豊かな自然があると見られる生きもの

なお、これら代表的な生きものは、学校等での自然環境学習での活用を考慮して「所沢生きものカード」としてまとめています。

表 目標とする生きものの候補

| | ★ まちなかでも見やすい生きもの (52種) | ★★ まちなかでも、よい環境があれば 見られる生きもの (35種) | ★★★ 豊かな自然があると見られる生 きもの (17種) |
|-------|--|--|--|
| 哺乳類 | アズマモグラ：塚 (草地) | ホンドタヌキ ：足跡・ためフン (樹林) キュウシュウノウサギ ：足跡・フン (草地) ホンドイタチ：足跡・フン (水辺) | ホンドキツネ ：足跡・フン (樹林・草地) |
| 鳥類 | カルガモ (池・川) コサギ (水辺) キジバト (樹林) コゲラ (樹林) オナガ (樹林) シジュウカラ (樹林) ツバメ (市街地・草地) ヒヨドリ (樹林) ウグイス (樹林) メジロ (樹林) ムクドリ (市街地・草地) ツグミ (樹林・草地) ジョウビタキ (樹林) スズメ (市街地) ハクセキレイ (市街地・水辺) カワラヒワ (樹林・草地) | キジ (草地) カッコウ (樹林・草地) カワセミ (池・川) モズ (草地) カケス (樹林) ~冬 ヤマガラ (樹林) ヒバリ (草地) エナガ (樹林) キセキレイ (水辺) イカル (樹林) ホオジロ (草地) アオジ (樹林) ~冬 | ツミ (樹林) オオタカ (樹林・草地) ノスリ (樹林・草地) ~冬 フクロウ (樹林) アオバズク (樹林) |
| 爬虫類 | カナヘビ (草地) | ニホンヤモリ (人家) シマヘビ (草地) アオダイショウ (樹林・人家) ヤマカガシ (水辺・草地) | イシガメ (水辺) ヒガシニホントカゲ (草地) |
| 両生類 | ニホンアマガエル (水辺・草地) | アズマヒキガエル (樹林・水辺) | ニホンアカガエル (水辺) シュレーゲルアオガエル (水辺) |
| チョウ | アゲハ (樹林) アオスジアゲハ (樹林) キタキチョウ (樹林・草地) モンシロチョウ (草地) ベニシジミ (草地) ヤマトシジミ (草地) キタテハ (草地) | アカシジミ (樹林) ミズイロオナガシジミ (樹林) ゴマダラチョウ (樹林) | ウラナミアカシジミ (樹林) オオムラサキ (樹林) ジャノメチョウ (草地) |
| バッタ | シヨウリョウバッタ (草地) オンブバッタ (草地) トノサマバッタ (草地) エンマコオロギ (草地) ツユムシ (草地) クビキリギス (草地) | ヒガシキリギリス (草地) | スズムシ (草地) クツワムシ (樹林・草地) |
| トンボ | アジイトトンボ (池) ギンヤンマ (池) シオカラトンボ (池) ウスバキトンボ (池) コシアキトンボ (池) シヨウジョウトンボ (池) アキアカネ (池) | チョウトンボ (池) ハグロトンボ (流れ) オニヤンマ (流れ) | キイトンボ (池) |
| セミ | ニイニゼミ (樹林) アブラゼミ (樹林) ミンミンゼミ (樹林) ツクツクボウシ (樹林) | ヒグラシ (樹林) | |
| カマキリ | オオカマキリ (草地) コカマキリ (草地) ハラビロカマキリ (樹林) | チョウセンカマキリ (草地) | |
| コウチュウ | カナブン (樹林) コアオハナムグリ (草地) ナミテントウ (樹林・草地) ナナホシテントウ (草地) | カブトムシ (樹林) コクワガタ (樹林) ノコギリクワガタ (樹林) ヤマトタマムシ (樹林) | シロスジカマキリ (樹林) |
| ハチ | クロオオアリ (草地) | ニホンミツバチ (樹林・草地) | |
| ナナフシ | | ナナフシ (樹林) | |
| クモ | ジョロウグモ (樹林) | | |

凡例 主な生息環境 樹林 草地 水辺

表記方法：種名 (生息環境)

参考：所沢生きものカード

1 家や学校のまわりを探してみよう！
身近な生きもの

★探せばいるかも？

| | | | | | |
|---|---|---|---|--|---|
| <p>アスマモグラ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：一年中</p> <p>トンネルを掘った土を小山にして「モグラ塚」をつくりまわります。畑や草はらをさがしてあつう。</p> | <p>ツハメ</p>  <p>見られる場所：市街地・草地 見られる時期：春～夏</p> <p>泥を集めてお椀型の巣をつくりまわります。秋から冬には大群で樹木に集まって賑わいます。</p> | <p>ムクドリ</p>  <p>見られる場所：市街地 見られる時期：一年中</p> <p>屋根裏などの建物の隙間に巣をつくりまわります。秋から冬には大群で樹木に集まって賑わいます。</p> | <p>ツグミ</p>  <p>見られる場所：樹林・草地 見られる時期：春～夏</p> <p>ふるさとシベリア。公園の芝地や畑などにいるよ。</p> | <p>スズメ</p>  <p>見られる場所：樹林・草地 見られる時期：一年中</p> <p>一番身近な野鳥だけれど実は群がっています。巣をつくる建物の隙間が少なくなるとね。</p> | |
| <p>カワラビワ</p>  <p>見られる場所：樹林・草地 見られる時期：一年中</p> <p>栴檀樹などにコブ型の巣をつくりまわります。「キリリ コロコロ」と鳴くよ。好物は草の種。</p> | <p>カルガモ</p>  <p>見られる場所：池・川 見られる時期：一年中</p> <p>格闘はくちばしの先の黄色と白いまじり。「ウエウエウ」と鳴くよ。</p> | <p>コサギ</p>  <p>見られる場所：水辺 見られる時期：一年中</p> <p>シラサギの仲間でお色い靴下をはいているよ。長くくちばしで小魚を捕まえます。</p> | <p>ハクセキレイ</p>  <p>見られる場所：市街地・水辺 見られる時期：一年中</p> <p>「チッチッチ」と鳴き、尻尾をふるよ。雑踏、校庭や公園でもよく見られます。</p> | <p>キシハト</p>  <p>見られる場所：樹林 見られる時期：一年中</p> <p>「テデーボウボウ」と鳴くよ。山ばととも呼ばれています。</p> | <p>コゲラ</p>  <p>見られる場所：樹林 見られる時期：一年中</p> <p>スズメくらいオシツツオだよ。「キーキー」とオシツツオがききむような声で鳴きます。</p> |
| <p>オナガ</p>  <p>見られる場所：樹林 見られる時期：一年中</p> <p>水色の翼と黒のペレ一色がきれいだね。いつも集団でいるよ。「グーイ グーイ」としゃがれ声。</p> | <p>シジュウカラ</p>  <p>見られる場所：樹林 見られる時期：一年中</p> <p>白いほっぺに黒のネクタイ。シャクドリなら1年に12万羽以上も食べちゃうよ。</p> | <p>ヒヨドリ</p>  <p>見られる場所：樹林 見られる時期：一年中</p> <p>「ピーヨ ピーヨ」と大きな声で鳴くよ。校庭のサクラの花のみつやさくらんぼも大好物。</p> | <p>ウグイス</p>  <p>見られる場所：樹林 見られる時期：一年中</p> <p>「ホー ホーケケ」の声はプロポーズとなわばり宣言。茂みや笹やぶが大好き。</p> | <p>メジロ</p>  <p>見られる場所：樹林 見られる時期：一年中</p> <p>黄緑色の体に目のまわりに白いリング。熟した柿の実、サクラやツバキの花の蜜も大好物。</p> | <p>ジョウビタキ</p>  <p>見られる場所：樹林 見られる時期：冬</p> <p>胸からお腹がオレンジ色はオス、薄茶色はメス。尾をふりながら「ヒッヒッ」と鳴くよ。</p> |

2

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| <p>カナヘビ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：春～秋</p> <p>トカゲに間違われるけど茶色でトカゲのような光沢はないよ。草の露が大好き。</p> | <p>ニホンアマガエル</p>  <p>見られる場所：水辺・池 見られる時期：春～秋</p> <p>樹木や草の上によくいます。体の側に大きな声の自慢「クワクワクワ」。</p> | <p>キタキチョウ</p>  <p>見られる場所：樹林・草地 見られる時期：春～秋</p> <p>はね全体が黄色いチョウで、幼虫はマメの仲間や木の葉を食べるよ。成虫のまま冬を越します。</p> | <p>モンシロチョウ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：春～秋</p> <p>幼虫はキャベツの葉を食べるので、畑のまわりの明るい所でもよく見られるよ。</p> | <p>ハニシジミ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：春～秋</p> <p>道ばたや明るい草地でみられます。はねのオレンジ色の模様は春には鮮やかで、夏には黒っぽくなるよ。</p> | <p>ヤマトシジミ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：春～秋</p> <p>道ばたや明るい草地で多いチョウ。はねの表面がきれいな青色をしているのがオスだよ。</p> |
| <p>キタテハ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：春～秋</p> <p>草や木の近くで見られます。はねは茶色に黒い斑点が、よく見ると黒い点々がらばらめられていてきれい。</p> | <p>アゲハ</p>  <p>見られる場所：樹林 見られる時期：一年中</p> <p>クリーム色に黒い線のあつ大きなチョウ。幼虫はミカドの仲間を食べるよ。</p> | <p>アオシヤガハ</p>  <p>見られる場所：樹林 見られる時期：一年中</p> <p>林のへりや並木を素早く飛びまわります。幼虫は学校や公園に植えられているクスノキやタブノキの葉を食べるよ。</p> | <p>ショウリョウバッタ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：春～秋</p> <p>たけの根の隙間にすんでいるのがこのショウリョウバッタ。オスとメスはどちらも大きな体をしているよ。</p> | <p>オンバッタ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：春～秋</p> <p>ショウリョウバッタを小さくして、尻を長くしたようなバッタです。ショウリョウバッタよりまばらな草地で見られるよ。</p> | <p>トノサマバッタ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：春～秋</p> <p>草がまばらで広い場所にいるのがこのトノサマバッタ。跳ぶ力が強いので近づくと遠くまで飛んで逃げます。</p> |
| <p>エンマコオロギ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：春～秋</p> <p>結露や石の下によくいて、「コロコロコロコロ」と鳴きます。腸がちょっとこくみえるのが名前の由来だよ。</p> | <p>ツエムシ</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：春～秋</p> <p>たけの根の隙間にすんでいるツエムシの仲間です。成虫で冬を越す「ツエムシ」というように聞こえ、ちょっと聞き取りづらいかも。</p> | <p>クビキリキス</p>  <p>見られる場所：草地 見られる時期：一年中</p> <p>頭がとんがったクビキリキスの仲間です。成虫で冬を越す「ジー」と大きな声で鳴くよ。</p> | <p>アジイトトンボ</p>  <p>見られる場所：池 見られる時期：春～秋</p> <p>田んぼや小さな池のまわりでたくさん見られるアジイトトンボ。オスとメスは色が違い、お腹のさが水色をしているのがオスだよ。</p> | <p>キンヤンマ</p>  <p>見られる場所：池 見られる時期：春～秋</p> <p>池のまわりや田んぼの上を飛び回っている大きなトンボ。オスのお腹の付け根の下の色が青色をしているよ。</p> | <p>シオカラトンボ</p>  <p>見られる場所：池 見られる時期：春～秋</p> <p>池や田んぼでよく見られるよ。オスは時間がたつと体色に水色の粉がくっつくよ。羽化してこのオスやメスを「ムキワラトンボ」と呼びます。</p> |

E

| | | | | | |
|--|---|--|---|--|--|
| <p>ウスバキトンボ</p>  <p>見られる場所 池 見られる時期 春～秋</p> <p>全体がうすいオレンジ色をしたトンボ。寒いところが苦手、冬を越せないで、毎年南の方から飛んでくるよ。</p> | <p>コシアキトンボ</p>  <p>見られる場所 池 見られる時期 春～秋</p> <p>池にすんでいる黒と白のはっきりした模様のトンボ。飛びながらオス同士でよくけんかしているよ。</p> | <p>ショウジョウトンボ</p>  <p>見られる場所 池 見られる時期 春～秋</p> <p>水草が多い池にすんでいます。オスは時間がたつと全身が真っ赤になり、とてもきれいだよ。</p> | <p>アキアカネ</p>  <p>見られる場所 池 見られる時期 春～秋</p> <p>一番よく見るアキアカネの仲間。オスは秋になるとお腹が赤くなるよ。夏の間は山にいて、秋に里へ戻ってきますよ。</p> | <p>ニイニセミ</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 夏</p> <p>雑木林で一番早く動き始めるセミ。「チーーーーー」と鳴くよ。ぬげがらには泥がついていますよ。</p> | <p>アブラゼミ</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 夏</p> <p>はねが茶色い大きなゼミ。「ジージリジリ」と大きな声で鳴くよ。町中の公園でもよく見られますよ。</p> |
| <p>ミンミンゼミ</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 夏</p> <p>「ミンミンミンミン」と大きな声で鳴くゼミ。名前が鳴き声からついたんだ。</p> | <p>ツクツクホウシ</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 夏</p> <p>一番遅く動き始めるゼミ。「オーシューツクツク、オーシューツクツク」と鳴くよ。名前が鳴き声からついたんだ。</p> | <p>オオカマキリ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 春～秋</p> <p>林の近くの草地にすむ大きなカマキリ。カマのある足のつけ根が黄色をしているよ。</p> | <p>コカマキリ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 春～秋</p> <p>草地にすむ小さなカマキリ。カマの内側に模様があるよ。普通は全身がこげ茶色をしていますよ。</p> | <p>ハラビロカマキリ</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 夏～秋</p> <p>木の生えているところによく見られるカマキリ。他のカマキリより体の幅がひろいのが特徴だよ。</p> | <p>コアオハナムグリ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 夏～秋</p> <p>形はカナブンに似ているけど、緑色で白い点々模様があります。いろいろな花にやってきて蜜をなめているよ。</p> |
| <p>ナミテントウ</p>  <p>見られる場所 樹林・草地 見られる時期 春～秋</p> <p>はねの模様はいろいろ。赤い星が2つあるのが一番多いけど、もっとあるものや黒い星が1つだけあるものもあるよ。食べ物のアブラムシが多いところにいるよ。</p> | <p>ナナホシテントウ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 春～秋</p> <p>背中が黒い星が七つ。ナミテントウと同じく、アブラムシが多いところにいるよ。</p> | <p>カナブン</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 夏</p> <p>顔が四角くて平べったいコガネムシ。雑木林にすんでいますよ。</p> | <p>クワオアリ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 春～秋</p> <p>家のまわりや牧草にもすんでくる大きなアリ。卵をつくる働きアリや卵を産む女王アリはみんなメスアリだよ。</p> | <p>ジョロウグモ</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 秋</p> <p>黄色や赤い模様がかさいないクモ。水と木の間に大きな巣を築くよ。真ん中にある大きなクモはメスで、黒のはじに小さなオスがいますよ。</p> | <p>トコロん</p>  <p>見られる場所 所沢市内全域 見られる時期 春～秋</p> <p>好きな食べものは、焼だんご、うどん、お茶だよ。</p> |

家や学校のまわりを探してみよう！

身近な生きもの

★ なかなか見られない ★

★ 見られたらすてい ★

| | | | | | |
|---|--|---|---|--|--|
| <p>ノウサギ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 一年中</p> <p>朝したばかりの畑に足跡がないかな？あまんじゅうとソフパクリームを2個食べた形だよ。</p> | <p>イタチ</p>  <p>見られる場所 水辺 見られる時期 一年中</p> <p>林や草はらもすみかだけど、水辺でよく見られるよ。カエルのような形の小さな足跡をさがしてね。</p> | <p>タヌキ</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 一年中</p> <p>家族で生活しています。深まった場所共同トイレ（ためプ）をつくっているよ。</p> | <p>キジ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 一年中</p> <p>「ケン ケン」と大きな声で鳴くよ。赤い顔に黒の羽はオス、卵を抱くメスは雌雉な茶色。</p> | <p>カッコウ</p>  <p>見られる場所 樹林・草地 見られる時期 春～秋</p> <p>「カッコウ」と鳴くのは初雉。秋には神鳥のツツドリたちとサクラの毛虫を退治しますよ。</p> | |
| <p>モズ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 一年中</p> <p>タカのようなかまゆのくちばしを見て、昆虫や小虫も捕らえるよ。秋には「チキチキチキ」と「高鳴き」をしますよ。</p> | <p>ヒバリ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 一年中</p> <p>空に舞い上がって大きな声でさえずります。丈夫の強い雛はらが大好き。</p> | <p>ホオジロ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 一年中</p> <p>「チツ チツ」とふたつた声でさえずります。冬は草の実を食べるよ。林のヘリや雑草林にすんでいますよ。</p> | <p>カワセミ</p>  <p>見られる場所 池・川 見られる時期 一年中</p> <p>水辺の宝石と呼ばれています。水辺を食べて、冬は卵を産むよ。空にとまってるの飛び込みが得意技。</p> | <p>キセキレイ</p>  <p>見られる場所 水辺 見られる時期 一年中</p> <p>黄色いお腹と黒い背中の羽毛が素敵でしょ。「チンチン」と鳴きながら水辺を移動するよ。</p> | <p>カケス</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 秋～冬</p> <p>黒くないけどカラスの仲間。ジュー ジューとしゃがれ声。ドンガラが好物だよ。</p> |
| <p>ヤマガラ</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 一年中</p> <p>昆虫や木の葉を食べます。かたい木の実も足で押さえて上手に割ることができるよ。</p> | <p>エナガ</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 一年中</p> <p>小さな白い体に長めの尾羽。「ジュッ ジュッ」と鳴きながら群れて暮らしているよ。</p> | <p>イカル</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 一年中</p> <p>黄色の太いくちばしが目立ちます。「キキ キョーキ」とゆったりと鳴くよ。</p> | <p>アオジ</p>  <p>見られる場所 樹林 見られる時期 秋～冬</p> <p>公園や庭にもやってきます。少し暗い水の下で「チツチツ」と声がしたらほかもよ。</p> | <p>シマヘビ</p>  <p>見られる場所 草地 見られる時期 春～秋</p> <p>背中に2本の黒いしまがあるからシマヘビ。ヘビも自然の一員、怖がらないでね。</p> | <p>アオダイショウ</p>  <p>見られる場所 樹林・人里 見られる時期 春～秋</p> <p>森や草地にもいるけど農家の納屋や屋根裏などにもすんでいるよ。</p> |

5

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|
| <p>ヤマカガシ</p> <p>水辺が好き。水にもくれるよ。毒をもっているけど大丈夫。</p> | <p>ニホンヤモリ</p> <p>夜に窓や玄関などを探してね。ガラスや壁に張り付いて虫を探しているよ。</p> | <p>アスマヒキガエル</p> <p>春先に池や水溜まりに集まって卵を産むよ。セリーのもののような卵を見たことないかな？</p> | <p>アカシジミ</p> <p>はね全体がオレンジ色のきれいなシジミチョウ。雑木林にすみ、昼間は葉の上でじっとしてて朝と夕方に飛ぶよ。</p> | <p>ミスイロオナガシジミ</p> <p>雑木林にすみ、はねの裏が銀白色をしたシジミチョウ。幼虫は雑木林に多いコナラの葉を食べるよ。</p> | <p>ゴマダラチョウ</p> <p>はねの黒と白のまだら模様と黄色いストローが目立ちます。雑木林にすみ、樹液に集まるよ。</p> |
| <p>ヒガシキリギリス</p> <p>群やぶにすんでいます。昼間「チーン」という大きな声で鳴くよ。</p> | <p>チョウトンボ</p> <p>薄いはねは青紫色で、ひらひら飛ぶ姿はチョウのように見えるよ。水辺の多い池にすんでいます。</p> | <p>ハグロトンボ</p> <p>はねが青一帯で体の緑色に輝くトンボ。水辺の生えている川にすんでいますよ。</p> | <p>オニヤンマ</p> <p>一番大きなトンボで、きれいな水の流れている小川にすんでいます。オスは流の上をいったりきたりしていますよ。</p> | <p>ヒグラシ</p> <p>雑木林にすみ、朝のつと夕方のうす暗いときに「カカナカナ」という声で鳴くよ。</p> | <p>チョウセンカマキリ</p> <p>普通にも大きなカマキリ。力のある足のつばき「カカナカナ」という声で鳴くよ。</p> |
| <p>カブトムシ</p> <p>雑木林の樹液に集まります。オスにはりっぱな木があるよ。幼虫は地面に掘もった、くさった葉をたべています。</p> | <p>コクワガタ</p> <p>雑木林の樹液に集まります。幼虫はくさった木をたべよ。成虫は数年生きています。</p> | <p>ノコギリクワガタ</p> <p>雑木林の樹液に集まります。大きなオスのきは「オオアコ」は、くの字型に曲がっているよ。</p> | <p>ヤマトタマシ</p> <p>緑色に赤紫色のしりが輝いてとまされています。成虫はエノキの葉を食べるので、雑木林のまわりをよく飛んでいるよ。</p> | <p>ニホンミツバチ</p> <p>昔から日本にすんでいる野生のミツバチ。蜜を貯るために刺しているセイヨウミツバチより黒っぽい。水の穴をつくりますよ。</p> | <p>ナナフシ</p> <p>水の枝やつりの形をしています。昼間はじっとして夜になると動き回って水や葉の裏を食べるんだ。</p> |

6

| | | | | | |
|---|---|--|---|--|--|
| <p>キツネ</p> <p>姿は簡単には見せないぞ。足跡なら見つかるかもね。犬の足跡と間違わないでね。</p> | <p>ノスリ</p> <p>木にとまってじっとしているのは獲物待ち伏せしているのさ。なかなか捕れないけど。</p> | <p>ツミ</p> <p>ハトよりも小さなツミ。「ビョー ビョービョー」甲高い声が聞こえるかな。</p> | <p>オオタカ</p> <p>森の王者。ハトやカモを捕まえるには、広くて豊かな自然が必要なんだ。</p> | <p>フクロウ</p> <p>「コロスク ホーホー」冬には繁殖のために鳴いているよ。森の方向に耳を澄ませてごらん。</p> | <p>アオバスク</p> <p>青葉が茂り始めるころは繁殖のために「ホッホー ホッホー」とふたつの鳴き声はばくくよ。大木の穴に巣をつくらます。</p> |
| <p>ヒガシニホントカゲ</p> <p>鱗は簡単には見せないよ。尾が青いのはまだ幼だね。石や土の暖いところが好きなんだ。</p> | <p>イシガメ</p> <p>コンクリートの水辺は苦手。陸の行き来ができないよ。</p> | <p>ニホンアカガエル</p> <p>1月から3月に田んぼや浅い池に集まって卵を産むよ。探してごらん。</p> | <p>シュレーゲルアオガエル</p> <p>アマエルに似ているけれど数珠のあたりが黒くありません。「コロコロコロ」と鳴くよ。</p> | <p>ジャノメチョウ</p> <p>ススキ原にすみ大きなチョウです。はねには目玉もよう（眼の目もよう）があるよ。</p> | <p>ウラナミアカシジミ</p> <p>はねはきれいな色で、裏に黒いまだら模様があるシジミチョウ。雑木林にすみ、夕方によく飛ぶよ。</p> |
| <p>オオムラサキ</p> <p>はねを広げると10センチ以上。オスののはねの裏は、青紫色に輝きます。雑木林にすみ、樹液に集まるよ。日本の「国蝶」です。</p> | <p>スズムシ</p> <p>たけのこが伸びた草やぶにすんで、夜「ジーリーン」と鳴き声を聞かれます。昔から鳴き声を楽しむために聞かれていますよ。</p> | <p>クワツムシ</p> <p>林のへりや草むらにすんでいる大きなクワツムシ。夜「チャヤチャヤチャ」ととても大きな声で鳴くよ。</p> | <p>キイトンボ</p> <p>水辺の多い池にすんでいますよ。オスは全身が鮮やかな黄色になってとまされています。</p> | <p>シロスジカマキリ</p> <p>雑木林にすみ大きなカマキリ。コナラやクヌギの木の葉を噛み、幼虫は生きている木を食べるよ。</p> | <p>トコロん</p> <p>好きな食べものは、焼だんご、とろん、お茶だよ。</p> |

2. 「生物生息空間」の保全・再生・創出方法

2-1. 樹林・草地・水辺に共通のポイント

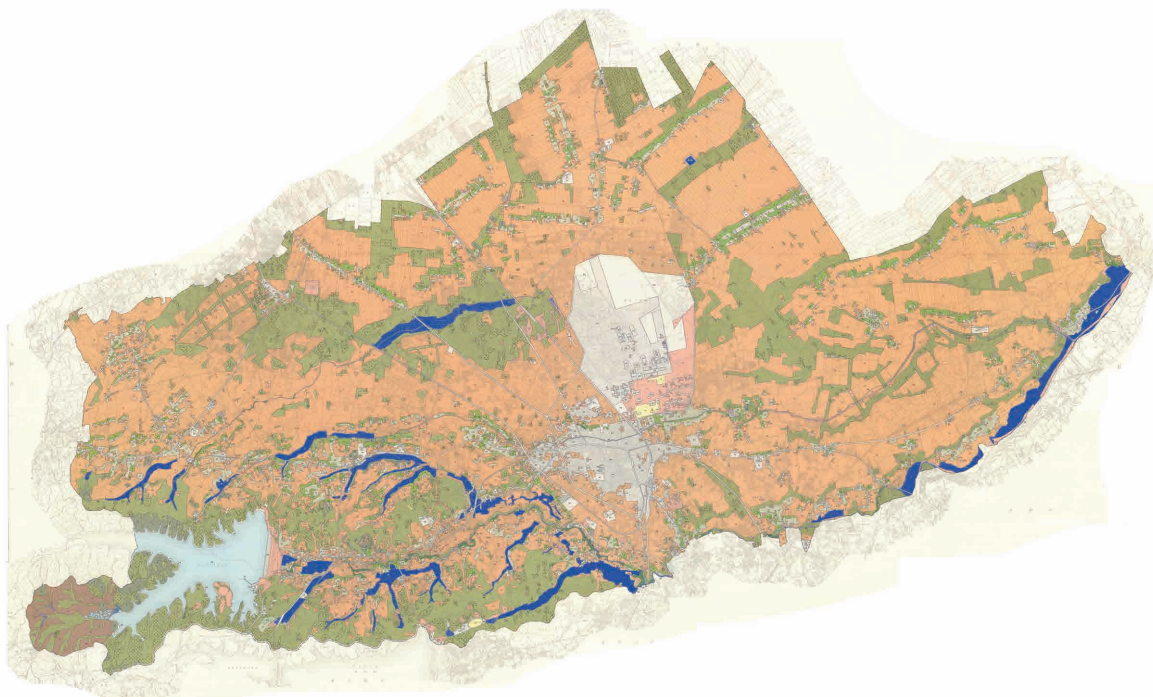
(1) 周辺の「生物生息空間」とのつながりを考える

「生物生息空間」をつくる時に、「エコロジカルネットワーク」に役立つかを考えてみましょう。例えば、周りに水辺がない場所に、池をつくったとしても、生きものがあまり利用せず、エコロジカルネットワークの形成にはあまり役に立たない可能性があります。

そのため、「生物生息空間」を創出する場合には、施設の周りの樹林、草地、水辺などの分布や、見られる生きものを調査して検討に反映することが望まれます。

(2) 敷地の立地環境を考える

本市は、大部分が丘陵地や台地上にあり、水田や湿地が分布していた場所は、狭山丘陵の谷戸*や、柳瀬川、東川、六ツ家川、砂川堀の沿いの一部などに限られていました。これら低地は、水辺の「生物生息空間」の適地であることから、積極的に水辺を創出して、ネットワークしていくことが望まれます。一方、台地上は本来水辺が少ない場所であることから、水辺を創出する場合には、その目的（例えば、子どもの環境教育のためなど）を明確にしておくことが望まれます。



水田・湿地の分布（1956年（昭和31年））

(3) 生きものを持ち込まない

所沢の地域本来の自然を守るために、海外や日本の他の地域から生きものを持ち込まないようにします。生きものがすみやすい環境をつくり、できるだけ周辺から生きものが自分の力でやってくるようにします。

(4) 草地タイプの「生物生息空間」の創出を検討する

「生物生息空間」を創出する場合、樹木を植栽して樹林タイプにする場合や、池をつくって水辺タイプにする事例が多く見られます。一方、草地タイプは、派手さが少ないため、取り組みが限られる傾向があります。しかしながら、草地は近年減少が著しい環境であり積極的な創出が望まれます。また、草地は、比較的狭い面積でも取り組み可能で、設置の費用が少なく済むなどのメリットも多く、春の七草、秋の七草や虫の音などの文化面でも価値が高いものです。

(5) 地域本来の植物（在来種）を利用する

植栽を行う場合には、地域本来の植物（在来種）を利用しましょう。すでに植えられている外来種や園芸種の樹木をすぐに在来種に植え替えることは難しいと思いますが、施設の改修などで樹木の植え替えなどの際には、外来種や園芸種から在来種に樹種を変えることを検討してください。また、植栽種はできるだけ、近い地域から調達しましょう。

在来種一覧

| 高木 | | 中高木 | | 低木 | | ツル性樹木 | |
|----|---|-----|---|----|--|---------------|--|
| 落葉 | オニグルミ アカメヤナギ コゴメヤナギ ハンノキ ウヌシデ アカシデ コナラ クリ ムクノキ エゾエノキ エノキ ケヤキ ホオノキ コブシ カツラ ヤマザクラ ウワミズザクラ イヌザクラ ネムノキ カラスザンショウ イロハモミジ トチノキ ミズキ | 落葉 | ナツツバキ アカメガシワ ニガキ ヌルデ ゴンズイ リョウブ エゴノキ | 落葉 | ネコヤナギ カワヤナギ クコ ウツギ モミジイチゴ カマツカ クサボケ サンショウ コマユミ マユミ ナツグミ タラノキ オカウコギ ヤマツツジ イボタノキ クサギ ムラサキシキブ ガマズミ ニワトコ ウグイスカグラ キハギ | 落葉 | アケビ ノイバラ ヤマフジ エビヅル ツタ スイカズラ |
| 常緑 | ツクバネガシ アラカシ ウラジロガシ シラカシ スダジイ アカガシ ヤブニッケイ シロダモ | 常緑 | シロダモ ヤブツバキ ヒイラギ ネズミモチ | 常緑 | ミヤマシキミ ソヨゴ イヌツゲ アオキ アセビ ヤブコウジ | 常緑 | ツルマサキ ツルグミ キヅタ テイカカズラ サネカズラ |
| | | | | | | ササ類・タケ類 | |
| | | | | | | アズマネザサ メダケ | |

出典：埼玉県（2006・H18）「埼玉県生物多様性の保全に配慮した緑化樹木の選定基準」

2-2. タイプ別の方法

樹林タイプ・草地タイプ・水辺タイプの3つのタイプごとに「生物生息空間」の保全・再生・創出方法を示します。

(1) 樹林タイプ

1) 「目標とする生きもの」を検討する

下表に示した、目標とする生きものの候補から、「目標とする生きもの」を設定し、表中の「呼ぶ方法」の実施を検討します（「呼ぶ方法」は、12～16ページの方法①～⑧を示しています）。

目標とする生きものの候補（樹林タイプ）

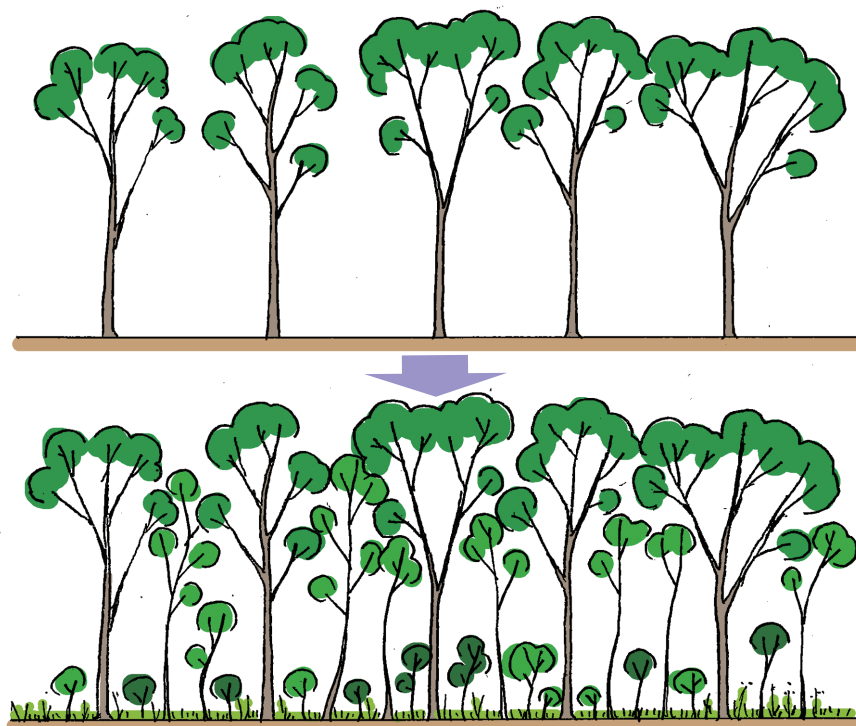
| ★まちなかでも見やすい生きもの | | 呼ぶ方法 | | | | | | | | 備考 |
|---------------------------|------------|------|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | |
| 鳥類 | キジバト | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | 枯れ木に穴をあけて虫をとる ヤブを好む |
| | コゲラ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | オナガ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | シジュウカラ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | ヒヨドリ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | ウグイス | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | メジロ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | ツグミ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | ジョウビタキ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| カワラヒワ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| 昆虫類 | アゲハ | | | | | | | ○ | ○ | 幼虫はミカンの仲間の葉を食べる 幼虫はクスノキやタブノキの葉を食べる 幼虫はマメの仲間の草や木の葉を食べる 枯れ木に産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる |
| | アオスジアゲハ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | キタキチョウ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | ニイニイゼミ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | アブラゼミ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | ミンミンゼミ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | ツクツクボウシ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | ハラビロカマキリ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | カナブン | | | | | | | ○ | ○ | |
| | ナミテントウ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| ジョロウグモ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| ★★まちなかでも、よい環境があれば見られる生きもの | | 呼ぶ方法 | | | | | | | | 備考 |
| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | |
| 哺乳類 | ホンドタヌキ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | 森の中のヤブを好む |
| 鳥類 | カッコウ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | カケス | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | ヤマガラ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | エナガ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | イカル | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| アオジ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | |
| 爬虫類 | アオダイショウ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | 多くの生きものがいることが必要 |
| 両生類 | アズマヒキガエル | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | 林の近くに池が必要 |
| 昆虫類 | アカシジミ | | | | | | | ○ | ○ | 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はコナラ・クヌギなどの葉を食べる 幼虫はエノキの葉を食べる 枯れ木などに産卵する コナラ・クヌギなどの樹液に集まる // // 幼虫は枯れ木の中で育つ バラ科植物・クヌギ・コナラなどの葉を食べる |
| | ミズイロオナガシジミ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | ゴマダラチョウ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | ヒグラシ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | カブトムシ | | | | ○ | | | ○ | ○ | |
| | コクワガタ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | ノコギリクワガタ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | ヤマトタマムシ | | | | | | | ○ | ○ | |
| | ニホンミツバチ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |
| | ナナフシ | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | |

2) 樹林タイプの「生物生息空間」の保全・再生・創出方法

方法① さまざまな高さの樹木や草があるようにする

自然の樹林には、異なる高さの樹木が生えており、樹林の下にはさまざまな種類の草も見られます。このようにさまざまな高さの木や草がある樹林は、植物の種類が多く、さまざまな環境があるため、多くの種類の生きものがすむことができます。

敷地の中に樹林がない場合でも、敷地周辺に植えられている高木の下に、丈の低い樹木を植えたり、草が生えるようにすることによって生きものにとってすみやすくなります。



さまざまな高さの木や草があるように



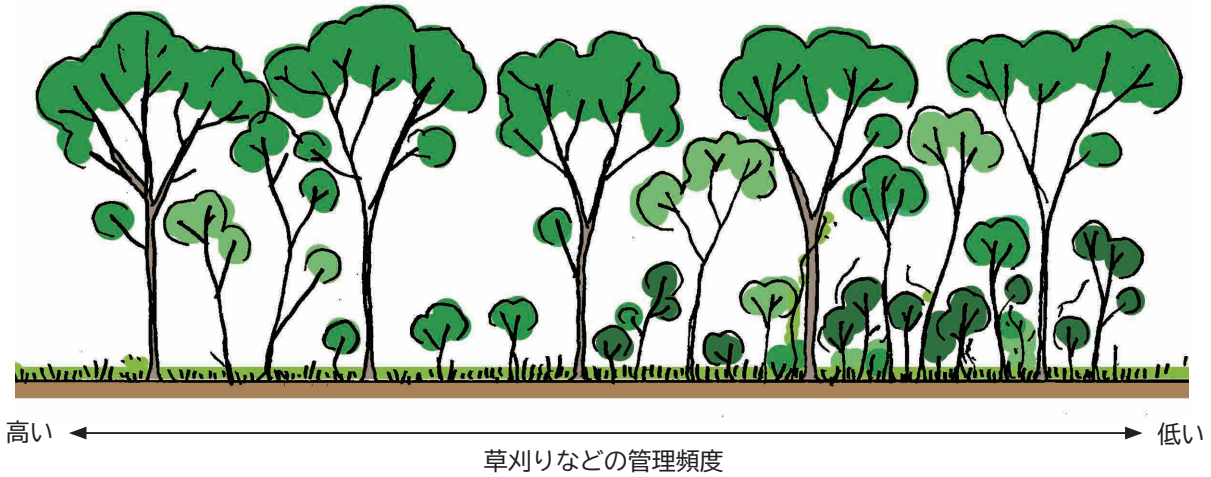
さまざまな高さの木や草がある樹林のイメージ

方法② 樹木の種類を増やす

自然の森には、多くの種類の植物が生育しています。昆虫が種類によって異なる樹木や草の葉を食べることを考えると、多くの種類の植物があることは、森の動物を多様にする 것과関係していることがわかります。そこで、自然の森を参考に、樹木の種類を増やすようにします。

方法③ 樹林の中の環境を多様にする

生きものは種類によって好む環境が異なることから、場所によって管理方法を変えて樹林の中の環境を多様にします。施設内に広い雑木林がある場合には、萌芽更新を行うことにより、生物多様性が改善されます。



ホンドタヌキ



ウグイス

ヤブを好む生きもの

方法④ カブトムシの寝床をつくる

落ち葉を集めて、たい肥をつくり、カブトムシの幼虫が育つ場所をつくります。



カブトムシ



方法⑤ 実のなる木を増やす

鳥が好む実のなる木を植えることで、いろいろな鳥がやってくる可能性があります。

注意) 実のなる木を植える場合には、そればかりを植えるのではなく、自然の樹林を復元する一環として行ってください。

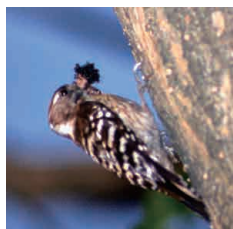
野鳥が好む実のなる木

| 階層 | 区分 | 種名 | 結実月 | 餌とする主な鳥 |
|------|-------|---------|-------|---------------|
| 高木 | 常緑広葉樹 | シロダモ | 11 | ムクドリ・ツグミ・オナガ |
| | | クロガネモチ | 11～12 | ツグミ・キジ |
| | 落葉広葉樹 | ヤマザクラ | 6～7 | ムクドリ |
| | | ウワミズザクラ | 7 | ヒヨドリ・オナガ・ムクドリ |
| | | ミズキ | 9～10 | ムクドリ |
| | | アカメガシワ | 9～10 | キジバト |
| | | エノキ | 10 | イカル |
| | | ムクノキ | 10 | イカル |
| | | イイギリ | 10～11 | カケス・メジロ・キジバト |
| アカシデ | 10～11 | ホオジロ | | |
| 亜高木 | 常緑広葉樹 | ヤブツバキ | 3 | メジロ・ヒヨドリ |
| | 落葉広葉樹 | ナナカマド | 9～10 | ツグミ |
| | | ヌルデ | 10～11 | ヒヨドリ |
| 低木 | 常緑広葉樹 | ヒサカキ | 10～11 | ツグミ |
| | | ナンテン | 11 | ツグミ・ジョウビタキ |
| | | タチバナモドキ | 12～2 | ツグミ・ジョウビタキ |
| | | ヤツデ | 4～5 | ツグミ |
| | 落葉広葉樹 | ヤマウコギ | 7～8 | ヒヨドリ・オナガ・ムクドリ |
| | | ガマズミ | 9～11 | キジ・キジバト |
| | | ムラサキシキブ | 10～11 | ツグミ・ジョウビタキ |
| | | マユミ | 10～11 | ツグミ・ジョウビタキ |
| | | ウメモドキ | 11～3 | ツグミ・ジョウビタキ |
| | | | | |
| ツル植物 | 常緑広葉樹 | キツタ | 4～5 | ヒヨドリ・ムクドリ |
| | 落葉広葉樹 | ツルウメモドキ | 10～11 | ツグミ・キジ・ジョウビタキ |

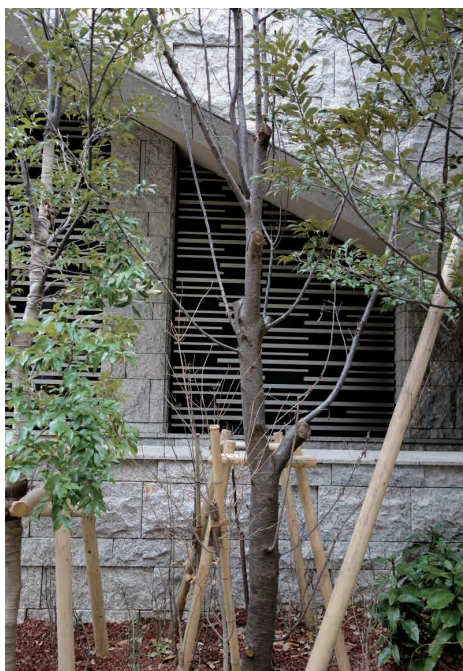
方法⑥ 枯れ木を残す・木を積んでおく

キツツキの仲間であるコゲラは、枯れ木の中から虫の幼虫をとって食べます。また、コクワガタやノコギリクワガタ、シロスジカミキリ、ヤマトタマムシの幼虫は倒木などの中で腐食した木を食べて育ちます。

そこで、倒れても安全なように枯れ木を残したり、伐採した樹木を樹林の近くに積んでおくことによって、生きものが増えるようにします。



コゲラ



コゲラのために枯れ木を設置した例



ノコギリクワガタ



ヤマトタマムシ



木積み例

方法⑦ 種から苗木を育てて植える

生物多様性を守るためには、日本国内であっても他の地域から生きものを持ってくることは好ましくありません。そこで植栽する樹木も付近に自然に生えている樹木から種をとって、苗木を育てて植えるようにします。



種から苗木を育てる



苗木を植える

方法⑧ チョウの食樹を育てる

チョウの仲間は、幼虫の時に食べる草木の種類が決まっていることから（これを、木の場合は食樹、草の場合は食草と言います）、チョウの食樹を育てます。

食樹はできるだけ、所沢市に昔から生えている種類から選びます。

チョウの幼虫の食樹

| 種名 | 食樹 |
|------------------|------------------------|
| アカシジミ | コナラ・クヌギ・カシワ・アカガシ・アラカシ |
| ウラナミアカシジミ | クヌギ・コナラ等 |
| ミズイロオナガシジミ | 主にクヌギ、ほかにコナラ・カシワ・アラカシ |
| ゴマダラチョウ | エノキ |
| オオムラサキ | エノキ |
| キタキチョウ | ネムノキ・ハギ類（メドハギ等） |
| アオスジアゲハ | クスノキ・タブノキ・シロダモ・ヤブニツケイ等 |
| アゲハ・クロアゲハ・カラスアゲハ | カラタチ・サンショウ・ミカン等 |



サンショウを食べるアゲハの幼虫（上新井小学校）

(2) 草地タイプ

1) 「目標とする生きもの」を検討する

下表に示した、目標とする生きものの候補から、「目標とする生きもの」を設定し、表中の「呼ぶ方法」の実施を検討します（「呼ぶ方法」は、18～20ページの方法①～⑤を示しています）。

目標とする生きものの候補（草地タイプ）

| ★まちなかでも見やすい生きもの | | 呼ぶ方法 | | | | | 備考 |
|---------------------------|------------|------|---|---|---|---|-------------------------|
| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | |
| 哺乳類 | アズマモグラ | ○ | ○ | | | | |
| 鳥類 | ツバメ | ○ | ○ | | | | |
| | ムクドリ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | ツグミ | ○ | ○ | | | | |
| | スズメ | ○ | ○ | | | | |
| | ハクセキレイ | ○ | ○ | | | | |
| | カワラヒワ | ○ | ○ | | | | |
| 爬虫類 | カナヘビ | ○ | ○ | | ○ | | |
| 両生類 | ニホンアマガエル | ○ | ○ | | | | 水辺と草地を移動 |
| 昆虫類 | キタキチョウ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | モンシロチョウ | ○ | ○ | ○ | | | ○ 幼虫はアブラナ等を食べる |
| | ベニシジミ | ○ | ○ | ○ | | | ○ 幼虫はスイバ、ギンギシ、ノダイオウを食べる |
| | ヤマトシジミ | ○ | ○ | ○ | | | ○ 幼虫はカタバミを食べる |
| | カタテハ | ○ | ○ | ○ | | | ○ 幼虫はカナムグラの葉を食べる |
| | ショウリョウバッタ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | オンブバッタ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | トノサマバッタ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | エンマコオロギ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | ツユムシ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | クビキリギス | ○ | ○ | ○ | | | |
| | オオカマキリ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | コカマキリ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | コアオハナムグリ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | ナミテントウ | ○ | ○ | ○ | | | |
| ナナホシテントウ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| クロオオアリ | ○ | ○ | ○ | | | | |
| ★★まちなかでも、よい環境があれば見られる生きもの | | 呼ぶ方法 | | | | | 備考 |
| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | |
| 哺乳類 | キュウシュウノウサギ | ○ | ○ | | | | |
| 鳥類 | キジ | ○ | ○ | | | | |
| | カッコウ | ○ | ○ | | | | |
| | モズ | ○ | ○ | | | | |
| | ヒバリ | ○ | ○ | | | | |
| 爬虫類 | シマヘビ | ○ | ○ | | | | |
| | アオダイショウ | ○ | ○ | | | | |
| | ヤマカガシ | ○ | ○ | | | | |
| 昆虫類 | ヒガシキリギリス | ○ | ○ | ○ | | | |
| | チョウセンカマキリ | ○ | ○ | ○ | | | |
| | ニホンミツバチ | ○ | ○ | ○ | | | |

2) 草地タイプの「生物生息空間」の保全・再生・創出方法

① 野草の草地をつくる

野草の草地をつくるためには、草が生えやすいように、土を柔らかくするほか、近くからとってきた野草の種をまいたり、株を植えたりします。近くの草地で刈り取った野草を、そのまま持ってきて置いておく方法もあります。



② 草刈りの回数を変え、草丈に変化を持たせる

草地には、草丈の低い草地や、草丈の高い草地があり、そこに生えている種類もさまざまです。こうした違いは土壌の栄養の多少や、乾湿といった環境の違いのほかに、草刈りの頻度によっても変わってきます。

草丈や草の種類によって、すむ生きものの種類が異なることから、草刈りの頻度を変えて、さまざまな草地をつくります。



草丈の低い草地
スミレ・カタバミなど

草刈年3回程度
5～6月・8月・10～11月

草丈のやや高い草地
チガヤなど

草刈年2回程度
5～6月・10～11月

草丈の高い草地
ススキなど

草刈年1回程度
10～11月

③ 在来種のツル植物で緑のカーテンをつくる

市内の学校等で行われているゴーヤやアサガオなどを用いた緑のカーテンのほかに、在来種の樹木・草を用いて緑のカーテンをつくります。これによって、実を食べに野鳥が訪れたり、花の蜜を吸いに昆虫がやってきます。

プランターなどに近くから種をとってきてまくほか、外周のフェンスなどにあるツル植物を残す方法が考えられます。

在来種のツル植物

| | 常緑・落葉 | 種名 | 生育型 | 生育条件 |
|----|-------|---------|-----------|----------------|
| 樹木 | 常緑 | キツタ | 付着根型 | 多少、日陰でも生育する |
| | | テイカカズラ | // | 日当たりのよい場所が好ましい |
| | | ビナンカズラ | // | // |
| | 半常緑 | スイカズラ | 巻つる型 | // |
| | 落葉 | ナツツタ | 巻つる型+付着根型 | // |
| | | アケビ | 巻つる型 | 多少、日陰でも生育する |
| | | ツルウメモドキ | // | 日当たりのよい場所が好ましい |
| | | サルトリイバラ | // | // |
| | | エビヅル | // | // |
| | | フジ | // | // |
| 草 | | カラスウリ | // | // |
| | | センニンソウ | // | // |
| | | ヤマノイモ | // | // |
| | | ヒルガオ | // | // |
| | | ヘクソカズラ | // | // |
| | | ヤブガラシ | // | // |
| | | クズ | // | // |



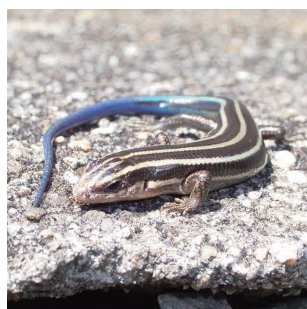
学校のフェンスのツル植物（中央小学校）

④ 石積みをつくる

15cmほどの大きさの石を、高さ30～40cmに積み、隙間をカナヘビやヒガシニホントカゲなどのすみかになります。



カナヘビ



ヒガシニホントカゲ



⑤ チョウの食草を育てる

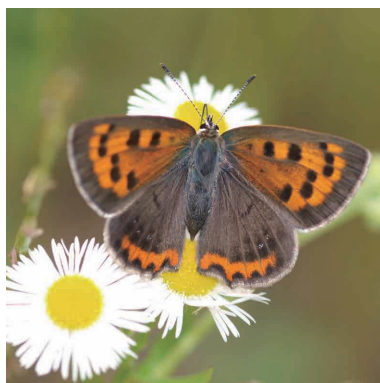
チョウの仲間は、幼虫の時に食べる草木の種類が決まっていることから（これを、木の場合は食樹、草の場合は食草と言います）、チョウの食草を育てます。

チョウの幼虫の食草

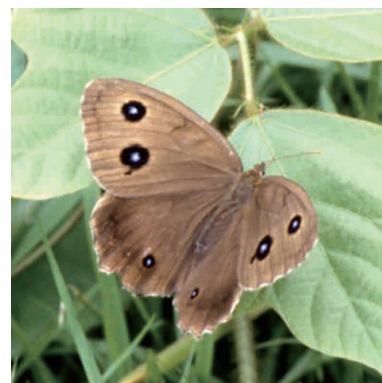
| 種名 | 食草 |
|---------|---------------------|
| キタテハ | カナムグラ |
| モンシロチョウ | キャベツ、アブラナ等 |
| ベニシジミ | スイバ、ギシギシ、ノダイオウ等 |
| ヤマトシジミ | カタバミ |
| ジャノメチョウ | ススキ、スズメノカタビラ、ノガリヤス等 |



キタテハ



ベニシジミ



ジャノメチョウ

(3) 水辺タイプ

1) 「目標とする生きもの」を検討する

下表に示した、目標とする生きものの候補から、「目標とする生きもの」を設定し、表中の「呼ぶ方法」の実施を検討します（「呼ぶ方法」は、22～24ページの方法①～⑤を示しています）。

目標とする生きものの候補（水辺タイプ）

| ★まちなかでも見やすい生きもの | | | | | | | |
|---------------------------|-----------|------|---|---|---|---|--------------|
| | | 呼ぶ方法 | | | | | 備考 |
| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | |
| 鳥類 | カルガモ | ○ | | ○ | | | |
| | コサギ | ○ | | | | | |
| | ハクセキレイ | | | ○ | | | |
| 両生類 | ニホンアマガエル | ○ | | ○ | | | 水辺と草地を移動 |
| 昆虫類 | アジイトトンボ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 池に生息 |
| | ギンヤンマ | ○ | ○ | ○ | | ○ | // |
| | シオカラトンボ | ○ | ○ | ○ | | ○ | // |
| | ウスバキトンボ | ○ | ○ | ○ | | ○ | // |
| | コシアキトンボ | ○ | ○ | ○ | | ○ | // |
| | ショウジョウトンボ | ○ | ○ | ○ | | ○ | // |
| | アキアカネ | ○ | ○ | ○ | | ○ | // |
| ★★まちなかでも、よい環境があれば見られる生きもの | | | | | | | |
| | | 呼ぶ方法 | | | | | 備考 |
| | | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | |
| 哺乳類 | ホンドイタチ | ○ | | ○ | | | |
| 鳥類 | カワセミ | ○ | | | | ○ | |
| | キセキレイ | ○ | | ○ | | | |
| 爬虫類 | ヤマカガシ | ○ | | ○ | | | 水辺や草地に生息 |
| 両生類 | アズマヒキガエル | ○ | | ○ | | | 水辺と草地、樹林地を移動 |
| 昆虫類 | チョウトンボ | ○ | ○ | ○ | | ○ | 池に生息 |
| | ハグロトンボ | ○ | | ○ | | | 流れに生息 |
| | オニヤンマ | ○ | | ○ | | | 流れ（溪流）に生息 |

2) 水辺タイプの「生物生息空間」の保全・再生・創出方法

方法① 池や流れをつくる・コンクリートの池や流れを改修する

池や流れをつくる場合には、次の点に注意しましょう。

A. 水は、雨水を基本にする

水はタンクを設置して雨水をためておき、必要に応じて補給します。渇水期には水道水を供給できるようにしておきます。井戸を掘って水を供給できるようにしておけばより安心です。



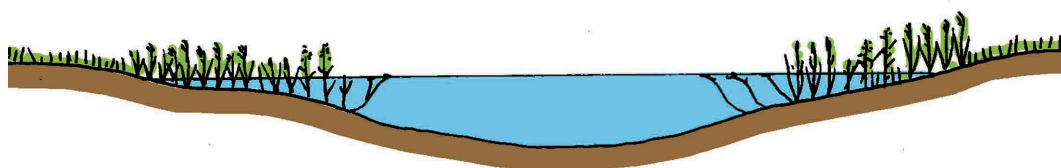
雨水タンク（清進小学校）

B. 岸辺をなだらかにし、水辺の植物が生育するようにする

池の底や岸辺は、水が抜けないように、ビニールシートや防水材、粘性土などで防水を行ったうえで土を入れます。岸辺は、陸から水中になだらかに移り変わるようにして、さまざまな水辺の植物が生育するようにします。岸辺をなだらかにすることは、子どもの安全対策としても有効です。

池の広さが確保できれば、池の中心部を深く（1 m程度）して、植物が全体を覆わないようにすると、管理の手間が少なくなります。

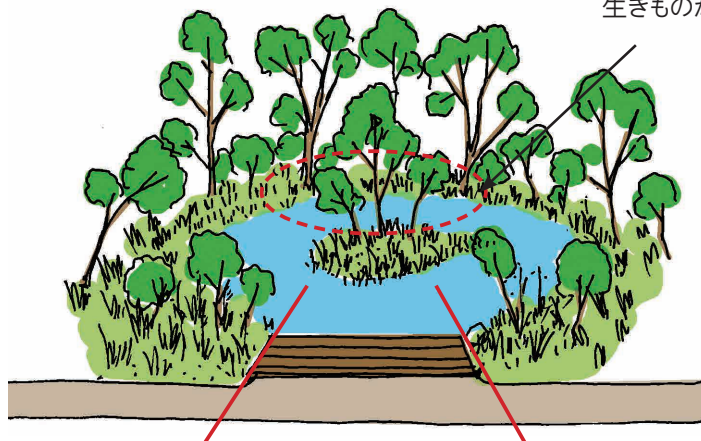
岸辺をなだらかにして植物が生育するように



C. 池に近づける場所を限定する、水辺に生きものの隠れ場所をつくる

池全体を歩道で囲むと、生きものが隠れる場所が少なくなり、また、カエルなどが水辺と陸を行き来しにくくなることから、観察などで池に近づける場所は一部にします。

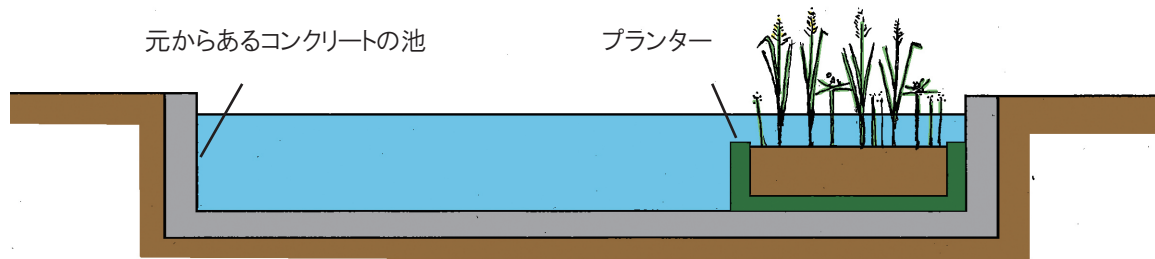
生きものが隠れる場所をつくる



観察等は一部から

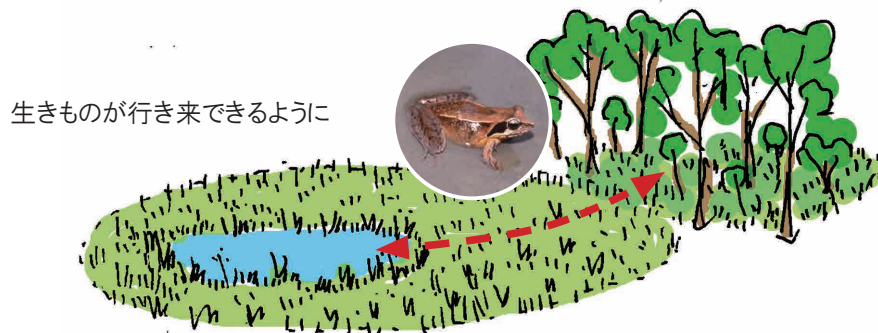
方法② コンクリートの池に生きものがすみやすくする

コンクリートの池がある場合、自然に近い池に改修することが水辺のつながりをつくるために最もよい方法ですが、すぐに実施することが難しい場合には、土の入ったプランターを池に設置し、水草を生育させることによって、簡単にトンボなどの生きものが来やすい池にすることができます。



方法③ 水辺と樹林や草地をセットでつくる

ヒキガエルやアカガエルなど、水辺と樹林や草地を行き来する生きものがいることから、できるだけ樹林と草地をセットでつくります。



方法④ カワセミが巣穴を掘る土の崖をつくる

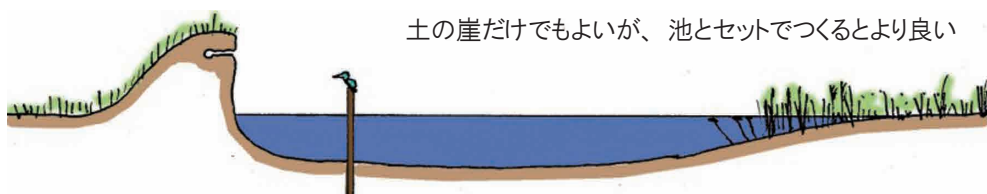
カワセミは、土の崖に穴を掘って巣をつくります。川から 500 m までの距離であれば巣をつくる可能性があるため、土の崖を守ったり、営巣しやすい土の崖を創出したりします。



カワセミを呼ぶために作られた土の崖



繁殖をしたカワセミ



方法⑤ プールのヤゴを助ける（小中学校）

プールを使用していない時期に水を張っているとトンボが産卵に訪れます。

5月中旬～6月下旬のプール清掃前に、水を少しずつ抜いて深さ20～30cm程度にし、ヤゴを捕まえます。

捕まえたヤゴは、教室の水槽や池などで飼育します。7月頃にトンボに羽化します。



ギンヤンマ

2-3. 「生物生息空間」の管理方法

方法① 除草剤や殺虫剤を使わない

生きものを呼ぶ取り組みは、生きものと共生するまちづくりを目指しているため、除草剤や殺虫剤は使用しないようにします。自然素材（木酢液、トウガラシ等）を使って虫が来ないようにする方法も考案されているので、検討してみてください。

方法② 管理を部分に分けて行う

草刈りなどの管理を全面で行うと、そこにすんでいた生きものの行き場がなくなってしまいます。部分的に管理を行うことで、生きものすみかを確保します。



一部を刈り残している例（所沢航空記念公園）

方法③ 様子をみながら管理を行う

自然や生きものを対象とした取り組みは、予想どおりにはいかないことがよくあります。そこで、管理の結果、自然がどのように変化したかをよく見て、場合によっては管理方法を変えるなど、様子を見ながら管理を行います。

生物多様性ところざわ戦略

2021年4月

発行 所沢市

〒359-8501 埼玉県所沢市並木一丁目1番地の1

TEL 04 (2998) 9373 FAX 04 (2998) 9195

E-mail a9373@city.tokorozawa.lg.jp

URL <http://www.city.tokorozawa.saitama.jp>

編集 所沢市環境クリーン部みどり自然課

協力 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

